

## 令和6年度事業報告

### 事業概要

「青少年に活動、研修、交流の場を提供することにより、豊かな感性と創造性を育み、心身ともに健全な青少年の育成を図ること」を目的としており、この目的を達成するため、山梨県から指定管理者として指定を受けている3施設の管理運営を行うとともに、これらの施設等において、「青少年の自然体験、生活体験、奉仕体験などの体験活動を推進する事業」、「こどもや親子の自由な遊びやふれあいを促進する事業」、「青少年の文化、教養、スポーツ活動を促進する事業」等を展開した。

### 職員の状況

| 施設名       | 区分     | 6年度 | 5年度 | 増減 |
|-----------|--------|-----|-----|----|
| 青少年協会     | 常勤役員   | 1   | 1   | 0  |
| 青少年センター   | 協会常勤職員 | 6   | 6   | 0  |
|           | 契約職員   | 4   | 4   | 0  |
|           | 計      | 10  | 10  | 0  |
| 愛宕山こどもの国  | 協会常勤職員 | 5   | 6   | △1 |
|           | 契約職員   | 4   | 3   | 1  |
|           | 計      | 9   | 9   | 0  |
| 八ヶ岳少年自然の家 | 協会常勤職員 | 6   | 6   | 0  |
|           | 契約職員   | 4   | 4   | 0  |
|           | 計      | 10  | 10  | 0  |
| 合 計       | 常勤役員   | 1   | 1   | 0  |
|           | 協会常勤職員 | 17  | 18  | △1 |
|           | 契約職員   | 12  | 11  | 1  |
|           | 計      | 30  | 30  | 0  |

## 事業実施状況

### I 法人会計 協会の運営

- 1 理事会等の運営、理事会、評議員会等の諸会議を開催し事業を推進した。
- 2 本協会が実施する事業推進のため、集中経理によるコスト節減や自主財源の確保に努めた。

#### 理事会決議事項

| 回数    | 開催年月日                 | 決議事項                                                                                 |
|-------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 | 令和6年 4月 1日<br>(決議の省略) | 1 業務執行理事(専務理事)選定の件<br>2 重要な使用人の選任の件                                                  |
| 第 2 回 | 令和6年 4月15日<br>(決議の省略) | 1 令和6年度第1回評議員会開催の件                                                                   |
| 第 3 回 | 令和6年 6月 5日            | 1 令和5年度事業報告の件<br>2 令和5年度収支決算の件<br>3 令和6年度定時評議員会開催の件                                  |
| 第 4 回 | 令和7年 3月11日            | 1 令和7年度事業計画の件<br>2 令和7年度収支予算の件<br>3 役員賠償責任保険加入の件<br>4 利益相反取引の件<br>5 令和6年度第3回評議員会開催の件 |

#### 評議員会決議事項

| 回数    | 開催年月日                 | 決議事項                                    |
|-------|-----------------------|-----------------------------------------|
| 第 1 回 | 令和6年 4月22日<br>(決議の省略) | 1 理事補充選任の件<br>2 評議員補充選任の件               |
| 定 時   | 令和6年 6月21日            | 1 令和5年度収支決算の件<br>2 理事補充選任の件<br>3 定款変更の件 |
| 第 3 回 | 令和7年 3月18日            | 1 令和7年度事業計画の件<br>2 令和7年度収支予算の件          |

## Ⅱ 公益目的事業会計 施設管理運営

### 施設利用状況

| 施 設 名     | 6年度 (人) | 5年度 (人) | 前年度対比            |
|-----------|---------|---------|------------------|
| 青少年センター   | 114,927 | 93,952  | 20,975 (22.3%)   |
| 愛宕山こどもの国  | 251,425 | 296,030 | △44,605 (△15.1%) |
| 八ヶ岳少年自然の家 | 40,106  | 37,803  | 2,303 ( 6.1%)    |
| 合 計       | 406,458 | 427,785 | △21,237 (△5.0%)  |

### 主催事業及び自主事業集計表

| 施 設 名     | 6年度 (人)   | 5年度 (人)   | 増 減              |
|-----------|-----------|-----------|------------------|
|           | 実施事業数(予定) | 実施事業数(予定) | 事業数(件)           |
|           | 参加者数(人)   | 参加者数(人)   | 参加者数(人)          |
| 青少年センター   | 34(34)    | 34(36)    | 0(△2)            |
|           | 5,896     | 6,075     | △179 (△2.9%)     |
| 愛宕山こどもの国  | 24(24)    | 22(22)    | 2(2)             |
|           | 16,649    | 49,095    | △32,446 (△66.1%) |
| 八ヶ岳少年自然の家 | 30(30)    | 31(31)    | △1(△1)           |
|           | 7,222     | 7,416     | △194 (△2.6%)     |
| 合 計       | 88(88)    | 87(89)    | 1(△1)            |
|           | 29,767    | 62,586    | △32,819 (△52.4%) |

## 1 県立青少年センター管理運営事業

青少年が、安心してのびのびと活動できる拠点として、また、個人・各種サークルや団体等の県民の活動や交流の場として、安全で快適にご利用いただけるよう、適切な施設管理を行った。また、旧本館の工事に伴い、駐車場や別館の渡り廊下の使用に制限がある中で、利用に支障がでないよう事前の周知に取り組むと共に親切、丁寧な対応に努めた。

主催・自主事業では、生涯学習の一環として幅広い世代に対応した事業を34事業実施し、青少年団体との連携を図りながら、利用促進に取り組んだ。

施設利用者 114,927 人(前年度 93,952 人)

### (1) 快適な利用環境を整備し、利用者サービスを向上

安全で快適な活動、研修、交流の場を提供するため、毎日の巡回点検を基本に、週1回の環境整備、休館日を利用しての一斉点検・整備、専門業者によるメンテナンスを実施した。

### (2) 積極的な広報活動

従来から活用しているホームページの更新や SNS では X(旧 twitter)や協会の LINE アカウントでの情報発信と各種イベント情報の周知に努めた。

### (3) 主催・自主事業の充実

健全な青少年の育成を図るため「各種のスポーツ教室事業」、「様々な体験活動を行える事業」、「相談支援事業」、「青少年育成山梨県民会議」事業など、時代に即した課題や魅力あるテーマにより実施した。

青少年センター主催事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                              | 主な内容                                                                                                            | 実施時期・回数  | 参加者数 |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------|
| 青少年センターゲームチャレンジ!                 | 運動の苦手な人や体を動かすことが嫌いな人でも遊び感覚で体を動かすことができるゲームを行い、技術や体力を身に付け、グループでの交流を楽しみながら親睦を深めた。                                  | 11 月     | 25   |
| おやこでつくろう!こ<br>うさく教室              | 凧作りと作った凧を上げて遊ぶことで創造性や表現力を育むとともに、親子間のコミュニケーションを深めた。                                                              | 12 月     | 20   |
| 若者相談室(コンサル<br>テーション・ビュー<br>ロー)事業 | ニート、ひきこもりを含む若者無業者を中心に、様々な悩みを聞き、その悩みを解消するための専門機関へ紹介する等の支援を行った。また、自宅に学習環境の確保が困難な中学生・高校生に自主学習の場の提供を図ったが、提供に至らなかった。 | 通年<br>随時 | 263  |
| 施設利用促進事業                         | マスコミなどへのイベント情報の掲載や、ホームページ・SNSの充実に努め、青少年センターの周知を行い、新規利用者の確保と定着を図った。                                              | 通年<br>随時 |      |
| 青少年センターボラ<br>ンティア推進事業            | 青少年センターが主催する各種事業にボランティアとして参加してもらうことで、活躍の場を提供すると共にボランティアの活性化を図った。                                                | 通年<br>随時 | 7    |
| 地域交流事業                           | 甲運地区夏祭りへの出展と甲運小の小学生と地域住民によるグラウンド・ゴルフでの交流を通して、地域と青少年センターの連携の強化し、安全・安心に暮らせる地域の醸成に寄与した。                            | 通年       | 366  |

|                          |                                                                                                            |               |       |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| レクリエーションインストラクター養成講座     | 受講者が、地域や職場で社会活動や奉仕活動を行うにあたり、レクリエーションインストラクターとして実践していくための知識や技術を学ぶために養成講座を開設し、その講座を通して資格取得を目指した。             | 通年<br>9回+補講2回 | 48    |
| おやこで運動塾～かけっこ～            | 専門の指導者から、かけっこにおける脚の上げ方、腕の振り方などを学んだ。また、親子で運動技能を習得することで、継続的な運動習慣の定着を目指した。                                    | 6月、12月<br>2回  | 84    |
| おやこで運動塾～器械体操～            | 子どもとその保護者が、楽しみながら運動技能の習得や継続的な運動習慣の定着を目指し、専門の指導者から鉄棒運動の動作を学んだ。                                              | 9月、2月<br>2回   | 52    |
| 作って！ねらって！撃て！水鉄砲スナイパー     | 水鉄砲づくりを通して、ものづくりの楽しさを味わい、技巧性を養いながら自分が作成したものに愛着を持ち、大切にすることを育てた。また、水鉄砲遊びを通して、グループ対抗で元気に走り回ったり、遊んだりする機会を提供した。 | 7月<br>1回      | 28    |
| めざせ！法律マスター～模擬裁判をやってみよう！～ | 模擬裁判を通して、ルール作りや法律などを理解し、討論する中で論理的思考力・コミュニケーション技術を身につけた。                                                    | 10月<br>1回     | 10    |
| やってみるじゃん！！パラスポーツフェスティバル  | パラスポーツの体験を通じて障害やパラスポーツへの理解を深めるとともに、障害のある方の社会参加の促進及び共生社会の実現へ繋げるため、山梨県主催の「パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル」を共催で実施した。    | 11月<br>1回     | 174   |
| Let'sトライ！タグラグビー！         | タックルなどの身体接触プレーがなく、安全に楽しめるタグラグビーを通じて、体を動かす楽しさ、互いを尊重すること、チームスポーツの楽しさを学んだ。                                    | 1月<br>1回      | 11    |
| センターまつり                  | 各種体験会、発表会、出店等による(文化)祭を実施し、地域に根差した施設を目指す。同時に文化・情報の発信地としての機能をセンターが担い、参加者に楽しい1日を提供した。                         | 3月<br>1回      | 1,370 |

青少年センター自主事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                            | 主な内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 実施時期・回数                                | 参加者数  |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------|
| 青少年・青少年育成功労者等表彰事業              | 青少年健全育成の一層の促進を図るため、善行青少年及び青少年健全育成功労者等を表彰した。                                                                                                                                                                                                                                                                | 随時                                     | 6     |
| 白ポスト事業                         | 青少年にとって有害な図書等の回収のため、JR 駅等に設置した白ポストの維持管理を行った。                                                                                                                                                                                                                                                               | 通年<br>随時                               |       |
| 山梨県児童館連絡協議会（共催：愛宕山こどもの国）（3 事業） | ①山梨県児童館連絡協議会<br>会員相互の連絡提携により、児童館運営の充実を図り、児童の健全育成を図った。また、会員の資質向上を図るために特別研修会や先進地視察研修、ブロック別研修会等を実施した。<br>②児童健全育成推進財団事業<br>児童館・放課後児童クラブの機能と活動内容について理解を深め、子どもたちの遊びや生活を通じた発達支援に直接的にかかわる児童厚生員の資質や意識の向上を図った。<br>③放課後児童支援員認定資格研修事業<br>放課後児童支援員として必要な「基本的生活習慣の習得の援助」、「自立に向けた支援家庭と連携した生活支援等に必要な知識・技能」を習得することを目的に実施した。 | 通年                                     | 640   |
| 各種機関連携事業                       | 各種関係機関と連携することにより、効果的な青少年健全育成事業を行った。各種プログラム提供や他機関事業への職員派遣、事業の協働実施。                                                                                                                                                                                                                                          | 通年<br>随時                               | 2,214 |
| 甲運小学校区<br>放課後子供教室              | 甲運小学校を会場として、青少年協会職員と甲府市教育委員会の指導のもと、小学生の放課後の居場所や各種体験・学習の場を提供した。<br>（青少年協会、甲府市教育委員会連携事業）                                                                                                                                                                                                                     | 6 月～1 月<br>13 回                        | 236   |
| 北杜市<br>放課後子ども教室                | 北杜市と連携し、北杜市放課後子ども教室として実施する「はくとワクワク教室」（イベント）に、職員を派遣し、レクリエーションやクラフトの講師として指導した。（青少年協会、北杜市連携事業）                                                                                                                                                                                                                | 12 月<br>1 回                            | 44    |
| 利用者支援サービス                      | 会議や研修で必要な書類のコピーサービスと、用具を持参しなかった利用者へ用具を提供し、利用者への利便を図った。                                                                                                                                                                                                                                                     | 通年<br>随時                               |       |
| グラウンド<br>・ゴルフ大会                | グラウンド・ゴルフの愛好者に活動の場を提供するとともに、参加者同士の親睦を深め、仲間づくりを進める。またグラウンド・ゴルフの普及振興を図り、健康づくりに寄与した。                                                                                                                                                                                                                          | 6 月、2 月<br>2 回                         | 74    |
| 甲斐児わいわい紀行<br>※体験の風事業           | 自然体験や集団宿泊経験の少ない児童が、様々な体験活動を通し、仲間と遊び、協力していく中で、自分に自信をもって活動できる子どもを育てるとともに自然の良さ、厳しさを体感し、自然への関心を高める機会とした。                                                                                                                                                                                                       | 7 月事前説明会<br>2 回<br>8 月（4 泊 5 日）<br>1 回 | 90    |

青少年センター自主事業実施状況(青少年育成山梨県民会議事業)

(単位 人)

| 事業名                                            | 主 な 内 容                                                                                                                         | 実施時期・回数  | 参加者数 |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------|
| 「あいさつ・声かけ運動」市町村民会議等普及事業                        | 「あいさつ・声かけ運動」を全県的に展開するため、各市町村への働きかけと、街頭キャンペーンを実施することでさらに「あいさつ・声かけ運動」を推進した。                                                       | 通年<br>随時 |      |
| ネット・ワークショップ                                    | 小学生とその保護者がデジタル時代の課題やその解決方法についてクイズ形式で学び、これからのデジタル時代に必要な力を身に付けた。                                                                  | 7月<br>1回 | 8    |
| 「家庭の日」「青少年を育む日」推進運動事業                          | 「大人が変われば子どもも変わる」をテーマに、大人自身の姿勢や大人社会のあり方を省みるきっかけとなるような啓発事業を行った。また、「家庭の日」「青少年を育む日」をテーマとした啓発ポスターを募集しカレンダーを作成した。                     | 通年<br>随時 | 53   |
| 青少年関係 NPO 法人等ネットワーク事業                          | 関係諸団体をつなぐメーリングリストを活用し、青少年育成関係団体等における情報の共有化を図るとともに、実施事業を中心に情報を発信した。                                                              | 通年<br>随時 |      |
| 子ども・若者支援フォーラム<br>「繋がろう！山梨のおとなたち話そう！子どもの明るい未来を」 | 「繋がろう！山梨のおとなたち 話そう！子どもの明るい未来を」TSU・NA・GU～家庭・学校・地域・行政の連携で希望ある未来をつくろう～をメインテーマに「子ども・若者支援フォーラム」において自己肯定感を高める関わり方の講演会を実施した。           | 2月<br>1回 | 32   |
| 管理運営(3事業)                                      | 県民会議事務局の運営及び事業の円滑な実施を図るため、ホームページによる情報提供や事務局の管理運営等を行った。                                                                          | 通年<br>随時 |      |
| 少年の主張山梨県大会                                     | 県内の中学生に、広い視野と柔軟な発想や創造性などを育むきっかけとするとともに、物事を理論的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につける機会とした。また、「少年の主張山梨県大会」において「少年の主張全国大会」へ出場する山梨県代表者を決定した。 | 8月県大会    | 41   |

## 2 県立愛宕山こどもの国管理運営事業

甲府駅からも近く、子どもたちがのびのびと遊べる安全で楽しい遊び場の確保に努めるとともに、緑豊かな里山の自然の良さを感じながら、施設を利用するすべての方が安全・快適に利用できるための環境づくりに努めた。

施設利用者 251,425 人(前年度 296,030 人)

### 運営方針及び具体的な管理運営

#### (1) 利用者が安心して、快適に利用するための環境整備と施設管理

毎日行う定時巡回では、危険箇所の早期発見に努め、危険箇所が見つければ、職員が対応するものと専門業者に依頼して対応するものとに区分して、迅速な施設保守を行い、遊歩道沿いの倒木撤去や植物の保護に努めることで、人が入ることができる里山の環境整備を行った。

また、混雑が予想される休日やイベント開催時には、来園者が安全に過ごせるように職員を適正に配置するとともに、アルバイトを配置することで安全に配慮した運営を行った。

さらに、活動プログラムを行うエリアの実施前点検と活動中の巡回を徹底することで、安心安全な施設運営に努めるとともに、新規プログラムの開発を進めることで利用満足度の増加を図った。

そのほか、ホームページ、SNS を使った情報発信を行った。

#### (2) 地域の団体やボランティアとの連携協働

県内の大学に通う学生ボランティアには、子ども対象事業の補助スタッフとして、子ども達の見守りと体験活動のサポートをしていただき、地元の奉仕団体には、園内の落ち葉やごみ拾いなどの環境整備作業にご協力いただくなど、地域やボランティアとの協働を図った。

#### (3) 積極的な広報活動

各種のイベントを開催するにあたって、ホームページや SNS を活用した広報活動に加え、イベント情報誌への掲載依頼を行なった。

#### (4) 主催事業の充実

豊かな自然環境を生かした体験活動や施設の特色を生かした野外活動を通じて、青少年の健全育成を図るとともに、幼児とその保護者を対象とした子育て応援事業や世代間交流を図る事業などを実施することで、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に重点を置いて各種事業を企画し、実施した。

愛宕山こどもの国主催事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                               | 主な内容                                                                                                                                                                 | 実施時期・回数           | 参加者数 |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------|
| 家族で楽しむ<br>アウトドア<br>～テント泊に<br>挑戦！～ | 愛宕山の自然の中でのテント設営、テント宿泊体験をとおして、親子の絆を深め、参加者相互の交流を図るとともに自然体験活動の楽しさを知ってもらった。<br>・テントサウナ・ドラム缶水風呂・野外炊事                                                                      | 10 月<br>1 回       | 33   |
| 幼児・親子向け<br>クラフトワークショップ            | 幼児を含む親子を対象に工作体験を提供した。また、山梨学院短期大学の学生には、実践での活動を通じて、子どもだけでなく保護者に対する様々な対応や支援についての理解と必要性を学んでもらうなど、実践的指導力の基礎を身に付ける機会とした。<br>第 1 回 風や光を感じる夏の工作・七夕飾り<br>第 2 回 木の実の工作とクリスマス飾り | 7 月、12 月<br>計 2 回 | 126  |

|                                            |                                                                                                                                                                   |                                |       |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|
| あたごやま自然観察会(春・夏・秋・冬)                        | 愛宕山の四季の観察から自然環境や野生動物・植物に見られる多様性とその重要性を学習し、環境に対する意識の向上を図る。<br>第1回《春》春らんまんの生きものたち<br>第2回《夏》感動がとまらない！<br>夜のいきものかんさつ<br>第3回《秋》秋のよながの虫の声<br>第4回《冬》冬の里山にはどんないきものがいるのかな？ | 4月、7月、9月<br>計3回<br>4回目は荒天のため中止 | 85    |
| 愛宕山こどもフェスティバル                              | ゴールデンウィークに工作や遊びなどの体験をとおして、こどもの情操を育むと共に、家族の絆を深める機会とした。<br>・鼓笛隊の演奏<br>・クラフトやゲームコーナー<br>・キッチンカーの出店<br>・ボランティア団体の出店他                                                  | 5月<br>3日間<br>1回                | 5,144 |
| 親子で出発！わくわく里山たんけん！<br>(子育て応援事業)             | 親子で五感を使って自然を感じ、豊かな情操を育むための体験活動への保護者の理解を深めるとともに、大人も子どももコミュニティの幅を広げる機会とした。<br>・ネイチャーゲーム<br>・かえるの観察                                                                  | 5月<br>1回                       | 27    |
| ほっこりふわふわCARINO デイ<br>(子育て応援事業)             | 低年齢期の子どもたちが集団行動や人とのかわり方のルールに気づききっかけづくりと、幼少接続期の「遊び」から「学びへ向かう姿勢」を育んでもらった。また、保護者には非日常生活の中でのわが子の姿を垣間見せ、保護者同士の情報交換や学校生活の実際を知る機会とし、家庭教育の充実を図った。<br>・ネイチャーゲーム<br>・虫の観察   | 6月<br>1回                       | 15    |
| 幼児向け自然体験活動指導者研修会                           | 講師にぐうたら村共同代表 小西貴士氏を招聘し指導者が幼児期における自然体験活動の意義について学ぶことができる機会を提供した。                                                                                                    | 1月<br>1回                       | 22    |
| つくってみるじゃん正月飾り<br>～世代を超えて伝えたい～<br>(異世代交流事業) | 核家族化が進み、世代から世代へと伝承されることが少なくなりつつある風習などに触れ、その意味を知るとともに、異なる世代との交流を深めることを目的として実施した。<br>・足踏式人力脱穀機体験<br>・しめ飾りづくり<br>(講師：山梨県護国神社 禰宣 羽中田 康司氏 協力：甲府遺族連合会)                  | 12月<br>1回                      | 31    |
| 職場体験・インターンシップ受入事業                          | 愛宕山こどもの国における教育事業や日常の研修支援などの業務を体験することで、早い段階から将来への明確な目標を構築するための活動を支援した。<br>・こどもの国施設管理業務の体験<br>・こどもの国主催事業体験                                                          | 通年<br>随時                       | 4     |

|                  |                                                                                                                    |            |       |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 自然保育<br>サポート事業   | 希望した幼稚園や保育園に対し、こどもの国の豊かな自然環境を活かした幼児期の自然体験活動の支援を行い、「生きる力」を育む機会を提供した。<br>・ネイチャーゲーム・いきものさがし<br>・焼き芋づくり他               | 通年         | 1,112 |
| 愛宕山<br>ボランティアバンク | 愛宕山を利用する子供たちの活動をサポートしていただける方々や園内の清掃、整備をしてくれる方、団体を幅広く募集し、豊かな経験や知識、趣味をもった県民の方々をボランティアバンクに登録し、支援してもらおうとともに、活動の場を提供した。 | 通年<br>随時   | 234   |
| レスパイトケア事業        | 子育て中の保護者が一時的に育児から解放され、心身を休めてリフレッシュしていただくための支援として、事業参加者の乳児預かりサービスを行う目的で募集したが申し込みがなかった。                              | 通年<br>随時   | 0     |
| 広報事業             | ホームページや SNS 等によるイベント案内に加え、イベント情報誌への掲載依頼を行ない広域的な情報発信を行なった。                                                          | 通年<br>随時   |       |
| 落葉焚きで焼き芋         | 園内で落ち葉を集めてから、サツマイモを焼いてもらうことで、火の暖かさや煙の匂いを感じ、家族団欒の時間を過ごしてもらおうとともに、参加者同士の交流を図った。                                      | 11 月<br>1回 | 83    |

## 愛宕山こどもの国自主事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                          | 主な内容                                                                                                                                | 実施時期・回数               | 参加者数  |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------|
| あたごやま<br>親子陶芸教室              | 初心者親子を対象に、日常生活で使える物を制作し、基本的な陶芸の知識や技術を身につけながら、作る楽しさや喜びを感じてもらった。また、親子で物づくりをすることで、子どもの持つ感性を実感してもらい、親子の絆を深めるきっかけとした。                    | 11月、12月、<br>1月<br>計3回 | 171   |
| 愛宕山で初日の出を見よう！                | 元旦にこどもの国ゲートを開放し、駐車場や科学館展望テラス等で初日の出を見て家族や友人同士の方々に楽しんでもらった。                                                                           | 1月<br>1回              | 400   |
| あたごやま<br>イベントフィールド<br>365    | 園内でイベントを実施し、感動体験を提供することで、心に残る家族の思い出づくりを演出した。また、遊びの中で家族間や参加者同士の交流を図るとともに身体を使った遊びの楽しさを感じてもらう機会とした。<br>・ミニセグウェイ<br>・パワーバドラー(幼児用手漕ぎボート) | 通年                    | 4,932 |
| 里山再生事業                       | 甲府の里山として親しまれて来た愛宕山の園内遊歩道を中心に整備を行うことで、来園者に安全かつ快適に利用してもらえる環境を提供した。                                                                    | 通年<br>随時              |       |
| 各種機関連携事業                     | 各種関係機関と連携することにより、効果的な青少年健全育成事業を行う。各種プログラム提供や他機関事業への職員派遣、事業の協働を実施。                                                                   | 通年<br>随時              | 3,560 |
| 甲斐児わいわい紀行<br>※体験の風事業         | 自然体験や集団宿泊経験の少ない児童が、様々な体験活動を通し、仲間と遊び、協力していく中で、自分に自信をもって活動できる子どもを育てる。自然の良さ、厳しさを体感し、自然への関心を高めた。                                        | 8月<br>1回<br>4泊5日      | 30    |
| 利用支援事業                       | こどもの国にキッチンカーの出店場所を設けたことで、利用者の利便性や快適性を高めた。                                                                                           | 通年                    |       |
| 山梨県児童館連絡協議会(共催:青少年センター)(3事業) | ①会員相互の連絡提携により、児童館運営の充実を図り、児童の健全育成を図った。また、会員の資質向上を図るために特別研修会や先進地視察研修、ブロック別研修会等を実施した。<br>②児童健全育成推進財団事業<br>③放課後児童支援員認定資格研修事業           | 通年                    | 640   |

### 3 県立八ヶ岳少年自然の家管理運営事業

八ヶ岳少年自然の家では、集団生活の中で自主的・自発的に行動する能力を身につけ、自律・協同・友愛・奉仕の精神を養うことを目的とした「少年団体の活動の場」として、利用者が安心して活動ができる事を業務目標の中心として施設運営を行った。

また、北杜市や山梨県立大学、地域関係機関との連携を積極的に進め、自然の家の認知度の向上と利用者増に努めた。

施設利用者 40,106 人（前年度 37,803 人）

#### (1) 利用者の安心・安全の確保

- ① 職員による毎日の巡回業務および月一回の施設点検により、利用者が安心・安全に活動できる環境づくりに努めた。
- ② 「樹木の立ち枯れ」や「倒木」については、早急に撤去作業を行なった。

#### (2) 広報活動の充実強化

- ① 自然の家のイベントチラシを年度初めに、県内の保育園・幼稚園、関係機関に送付し、自然の家の事業について広く周知を図った。
- ② 都内の大学へチラシ、パンフレットを配布し、ゼミ等における利用の誘致を行った。
- ③ 利用者に必要な情報を分かり易くホームページに掲載し、定期的に更新を行った。  
また、X(旧 twitter)や Instagram などの SNS を活用し、リアルタイムな自然の家の情報を発信するとともに、事業について広く周知を図った。

#### (3) 主催・自主事業の充実

- ① 施設の設置目的を重視し、自然環境に恵まれた施設の特性を活かし、参加者の安心・安全を確保のうえ、主催・自主事業を年間 30 事業実施した。
- ② 山梨県立大学など各種機関と連携を図りながら、魅力的かつ満足度の高い事業を実施した。
- ③ 閑散期における利用者増を目的に、冬期間中に、立地や環境を生かした魅力ある事業を実施した。

八ヶ岳少年自然の家主催事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                          | 主な内容                                                                                                  | 実施時期・回数              | 参加者数 |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|
| ボランティア研修会                    | 自然の家にてボランティア活動を希望する方が、施設の特性や野外活動の意義を理解し、活動するうえで必要な指導知識や技術の習得を図る機会を提供した。                               | 6 月(1 泊 2 日)<br>1 回  | 8    |
| 秘密基地を作ろう<br>～家族で育てる豊かな森～     | 倒木等の自然物を使用し秘密基地作りに挑戦することで、自然の再生について興味を持ち、考えるきっかけとなるとともに、家族間のコミュニケーションを深める機会とした。                       | 10 月(1 泊 2 日)<br>1 回 | 28   |
| マッシュルームキャンプ<br>～秋を感じて、遊びつくせ～ | 秋を感じるハイクやクラフト、野外炊事をする中で「秋」という季節を感じ、四季の移り変わりや自然への関心を高めるきっかけとなるとともに、同世代との集団宿泊活動を通じて、協調性や自己肯定感を高める機会とした。 | 11 月(1 泊 2 日)<br>1 回 | 35   |
| クリスマス<br>ナイトウォーク             | 自然の家の敷地内にある森林の中にライトアップしたコースを設置し、ナイトウォーキングを体験することで、夜の幻想的な自然を満喫してもらうとともに、自然の家への理解を深めてもらい、閑散期の利用拡大を図った。  | 11 月～12 月<br>計 6 回   | 153  |

|                                                  |                                                                                                                                           |                                    |       |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------|
| 地域共生事業                                           | 日頃から地域との連携強化に努め、地域の防災訓練やお祭りに参加した。自然の家が地域に必要とされる施設となることを目指し、共生できる関係を築けるよう努めた。                                                              | 9月、10月<br>2回                       | 102   |
| 八ヶ岳利用者研修会                                        | 当自然の家の利用を予定している団体引率者が、集団宿泊活動や野外活動の意義を理解し、活動プログラムを組み立てる上で必要な指導知識や技術の習得を図った。                                                                | 4月(日帰り)<br>2回                      | 95    |
| 春を探しに清里へ<br>～GWを楽しもう～                            | ゴールデンウィーク中に、家族で自然の家に宿泊し活動プログラムを体験してもらうことで、自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図った。                                                              | 5月3日～5日<br>(1泊2日または<br>2泊3日)<br>1回 | 117   |
| ファーストステップ<br>キャンプ<br>～意外と簡単？<br>家族でキャンプ<br>デビュー～ | キャンプをしてみたいが経験がない、または道具がない等、キャンプをはじめる一步が踏み出せないという家族を対象に野外活動の知識や技術を楽しみながら習得した。また、家族で協力してキャンプ生活を送ることで、家族間のコミュニケーションを深め、より良い家族関係を構築する機会を提供した。 | 7月(1泊2日)<br>1回                     | 62    |
| 地域環境美化事業                                         | 地域住民と連携し、自然の家の玄関口ともいえる通称「牧場通り」を中心に、自然の家周辺の環境美化に努めた。                                                                                       | 4月～9月<br>(日帰り)<br>6回               | 45    |
| フォレストキャンプ<br>～五感を磨く<br>1泊2日～                     | デジタル機器に触れる機会が増加することにより、様々な体験活動をする機会が減少し、人と人とのコミュニケーションにも変化が生じていることを踏まえ、集団宿泊体験を通して子ども同士のコミュニケーションを増やし、五感を使って、自然への関心を高める機会を提供した。            | 9月(1泊2日)<br>1回                     | 42    |
| 自然の家<br>フェスティバル<br>(地域交流事業)                      | 日頃自然の家を利用する機会のない方々など、広く県民の皆様には施設を開放し、自然の家への理解と利用促進を図った。                                                                                   | 9月(日帰り)<br>1回                      | 1,005 |
| ワク！ホク！<br>オクトーバーキャンプ                             | 小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験を通して、自分に自信をつけ、協調性や社会性を育むきっかけにするともに、外遊びなどの運動をすることで身体能力の向上を目指した。                                               | 10月(1泊2日)<br>1回                    | 35    |
| ファミリーキャンプ                                        | 家族で楽しみながら、ゆったりとした時間の中で活動を行うことで、自然を感じ、日頃の疲れを癒やすとともに、家族のコミュニケーションを図った。                                                                      | 11月(1泊2日)<br>1回                    | 75    |
| 利用者との意見交換会                                       | 実際に自然の家を利用した団体の代表者に「当施設をお使いいただける理由」や「自然の家に求めること」といったテーマで意見交換する機会を設け、今後の自然の家のあり方などについて検討した。                                                | 11月(日帰り)<br>1回                     | 5     |
| 八ヶ岳星空観望会                                         | 光害が少ない清里高原の星空観望を通じて、星座や星空に親しみ、自然に対する興味や関心を高める機会を提供した。                                                                                     | 11月<br>※雨天のため中止<br>12月(日帰り)<br>1回  | 27    |

|                                          |                                                                                                                       |                                                   |       |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------|
| 家族で泊まろう<br>～八ヶ岳 in ウィンター～                | 閑散期における利用率向上を図ることを目的に、家族で自然の家に宿泊し、活動プログラムを体験してもらうことで、自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図る機会を提供した。                         | 1月、2月<br>(1泊2日または<br>2泊3日)<br>2回                  | 181   |
| ビギナーズ・スター・<br>キャンプ<br>～月見里(やまなし)<br>観望会～ | 星の美しい清里地区を舞台に、家族で星空を見ながらコミュニケーションのきっかけとしてもらうとともに、誰もが知っている天体である月の動きを知ることで、天体への関心を深めてもらう機会とした。                          | 1月(1泊2日)<br>1回                                    | 69    |
| きよさとさんぽ<br>～朝の鳥たちの声を<br>聴こう～             | 朝の清々しい自然の中を家族で楽しみながら歩くことで、新たな発見を共有しながらコミュニケーションをとる機会とした。また、鳥たちの声を聞きながら自然を楽しむことから、普段とは異なる自然に触れ、自然に興味を持つきっかけとなる機会を提供した。 | 3月(1泊2日)<br>1回                                    | 42    |
| 八ヶ岳少年自然の家の<br>思い出を描く作品展                  | 雄大な八ヶ岳高原の大自然の中で活動した思い出を、子どもたちが自由に絵画で表現することにより、自然の家や自然環境への興味・関心を一層高める機会とした。                                            | 応募期間<br>5～11月<br>審査会<br>11月<br>表彰式<br>1月<br>(日帰り) | 1,494 |
| KIYOSATO ボランテ<br>ィア隊                     | 主催事業の運営、指導補助者の方々や施設ボランティアを希望する方々に活躍の場を提供した。また、ボランティアと施設職員が連携して行う活動を通して、豊かな施設づくりを目指し、さらに清里地区全体の魅力づくりにつなげた。             | 7月～3月<br>計11回                                     | 68    |
| 利用促進事業                                   | 利用者の増加を図るため、学校等への利用案内やイベントチラシの送付を行い、新聞・雑誌での情報発信、ホームページの充実・SNS等の様々な媒体を通じて施設のPRに努めた。                                    | 通年<br>随時                                          |       |

## 八ヶ岳少年自然の家自主事業実施状況

(単位 人)

| 事業名                                          | 主な内容                                                                                                                                                            | 実施時期・回数           | 参加者数  |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| スタートアップキャンプ～仲間と触れる自然体験～(県立大学連携事業)<br>※体験の風事業 | 集団で体験する活動を通して、初めて会う仲間と直接的なコミュニケーションを取ることから、相手を思いやる気持ちを育むとともに、仲間意識を持ち、信頼ある関係を築ききっかけとした。また、教育現場を志す学生に子どもと直にやり取りする場を提供することで、将来を検討するきっかけとしてもらうとともに、活きた経験を得られる機会とした。 | 10月(1泊2日)<br>1回   | 36    |
| 甲斐児わいわい紀行<br>※体験の風事業                         | 自然体験や集団宿泊経験の少ない児童が、様々な体験活動を通し、仲間と遊び、協力していく中で、自分に自信をもって活動できる子どもを育てる機会とし、自然の良さ、厳しさを体感し、自然への関心を高める機会とした。                                                           | 8月(4泊5日)<br>1回    | 30    |
| ナイトプログラム支援事業                                 | 秋以降の利用促進を図るため、普段は指導を行っていない夜プログラムについて、職員が指導・補助を行う体制を作り、利用者の利便性を向上させた。                                                                                            | 9月～3月<br>計14回     | 448   |
| 北杜市<br>放課後子ども教室                              | 北杜市と連携し、北杜市放課後子ども教室として実施する「ほくとワクワク教室」(イベント)に、職員を派遣し、レクリエーションやクラフトの講師として指導した。また、同時に青少年協会のPRを行った。(青少年協会、北杜市連携事業)                                                  | 11月～2月<br>計4回     | 213   |
| 甲運小学校区<br>放課後子供教室                            | 甲運小学校を会場として、青少年協会職員と甲府市教育委員会の指導のもと、小学生の放課後の居場所や各種体験・学習の場とした。(青少年協会、甲府市教育委員会連携事業)                                                                                | 10月<br>12月<br>計2回 | 35    |
| 冬を楽しむアクティビティ                                 | 自然の家の持つ環境の特性を活かし、冬の時期でも楽しめるアクティビティを体験することから、様々な季節での自然の家の利用促進を図るとともに、幅広い層への自然の家の認知を高め、今後の利用向上を目指した。                                                              | 2月(日帰り)<br>8回     | 89    |
| 利用者支援サービス                                    | 施設利用者を対象に、体験活動に要する資材を提供することで、利用者サービスの向上を図った。                                                                                                                    | 通年<br>随時          |       |
| 施設活性化事業                                      | 関係団体や近隣住民と共同して施設の活性化を図った。<br>・つつじ祭り清里ウォークへの協力<br>・北杜市観光協会主催の「美し森環境美化活動」に参加                                                                                      | 6月、11月<br>計2回     | 417   |
| 各種機関連携事業                                     | 各種関係機関と連携することにより、効果的な青少年健全育成事業を行った。各種プログラム提供や他機関事業への職員派遣、事業の協働実施を行った。                                                                                           | 6月～3月<br>計10回     | 2,266 |

### Ⅲ 収益事業会計 利用者支援サービス事業

サービスの向上と満足度を高めるため、安定した経営資源確保のため、外部団体との提携により魅力ある自主事業を定期的実施し、施設の利用率向上と収入確保を図った。

(単位 円)

| 事業名           | 主な内容                                              | 実施時期 | 経常収益      |
|---------------|---------------------------------------------------|------|-----------|
| 利用者支援サービス     | 自動販売機による飲料水の販売等を行った。                              | 通年   | 3,743,854 |
| プラネタリウム番組配給事業 | 当協会が配給権を有するオリジナルプラネタリウム番組を、公共施設等に配給した。            | 通年   | 39,690    |
| 外部団体提携事業      | 外部団体と提携し、専門インストラクター指導による講座を実施し、県民サービスと利用の拡大を目指した。 | 通年   | 358,320   |